SEGASammy























SEGA SAMMY GROUP

CSR BOOKLET 2020

©SEGA ©Sammy ©TMS
©ATLUS ©SEGA/ ©KOEI TECMO GAMES All rights reserved.

CONTENTS

01 会社概要・グループ概要・主なCSR活動のあゆみ
02 編集方針・報告対象範囲・パフォーマンスデータ(連結)
03 TOP MESSAGE
セガサミーホールディングス株式会社 代表取締役会長グループCEO　里見 治
セガサミーホールディングス株式会社 代表取締役社長グループCOO　里見 治紀
05 事業概要
セガサミーグループの新たなチャレンジ
07 特集 エンタテインメントを通じた地方共創
09 セガサミーグループの復興支援活動
12 新型コロナウイルス感染症への対応
13 マネジメント
23 お客さまとともに
30 お取引先とともに
34 社員とともに
42 株主・投資家とともに
44 社会とともに【環境】
49 社会とともに【社会貢献】

会社概要

社名	セガサミーホールディングス株式会社
本社所在地	〒141-0033 東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー
設立	2004年10月1日
資本金	299億円
代表取締役会長グループCEO	里見 治
代表取締役社長グループCOO	里見 治紀
事業内容	総合エンタテインメント企業グループの持株会社として、グループの経営管理およびそれに附帯する業務
社員数	8,798名(連結)

2020年3月31日現在

グループ概要

セガサミーグループは、幅広い領域で事業展開する総合エンタテインメント企業グループとして、大人から子どもまであらゆる年代のお客さま、国内、海外のお客さまに感動体験を創造し続けています。

2019年度実績

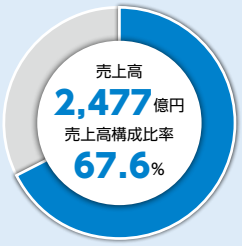
遊技機事業



主な事業内容
パチスロ遊技機及びぱちんこ遊技機の開発・製造・販売

関連グループ企業
SAMMY、RODEO、ELEC、銀座
(その他13社)

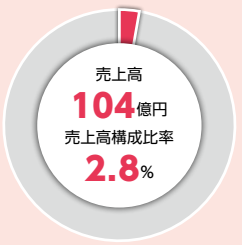
エンタテインメントコンテンツ事業



主な事業内容
デジタルゲームを中核にパッケージゲーム、アミューズメント機器における開発・販売、アミューズメント施設の開発・運営やアニメーション映画の企画・制作・販売及び玩具等の開発・製造・販売

関連グループ企業
SHD、SGC、SIC、SLS、SE、DL、ATLAS、TOYS、TMS、MARZA、SSC
(その他17社、海外44社)

リゾート事業



主な事業内容
統合型リゾート事業やその他施設事業におけるホテルやゴルフ場などの開発・運営

関連グループ企業
国内：PSR(その他2社)
海外：PSS(その他1社)

主なCSR活動のあゆみ(年度)

2004
- セガ、サミーが経営統合し、セガサミーグループ誕生

2005
- 「グループ経営理念」、「グループCSR憲章」、「グループ行動規範」を制定

2006
- CSRハンドブック発行
- CSR推進項目、計画策定

2007
- CSRレポート創刊
- 環境ハンドブック発行
- コンプライアンスハンドブック発行

2009
- 社員向けCSRレポート創刊
- CSRの手引き(社員手帳冊子)発行
- 重要性測定(マテリアリティ分析)実施

2010
- NPOとのダイアログ実施
- グループ新任役員向けコンプライアンス研修導入

2011
- 東日本大震災被災地で社員ボランティア活動開始
- CSR有識者とのダイアログ実施

2012
- グループ共通のCSR取り組みテーマを設定
- 新入社員向け合同CSR研修導入
- 東日本大震災復興支援イベント開始
- 都内、近郊に避難されてきた方々を東京ジョイポリスへご招待

2013
- 「CSR推進方針」を策定
- グループ新入社員による被災地ボランティア(研修)導入
- グループ役員向けコンプライアンス研修導入
- 個別トピックス研修導入

2014
- 「国連グローバル・コンパクト」の支持・署名
- 「グループ・マネジメントポリシー」並びに「グループ・ガイドライン」制定
- グループ会社マネジメント層向けCSR研修導入

編集方針

セガサミーグループのCSR活動の取り組みを様々なステークホルダーの皆さまに報告し、コミュニケーションを図りながら活動と情報開示を充実させていくことを目的として発行しています。統合レポートに特に投資家の重視するESG情報が掲載されたことを受け、2018年より統合レポートに掲載されていない項目やCSRの観点でより深く報告すべき項目を掲載するようにしています。また社員のVOICEコーナーを充実させ、セガサミーグループの事業や取り組み、働き方をより具体的に感じていただけるようにしました。

[参考にしたガイドライン]

GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード2016／2018」
ISO26000(社会的責任に関する手引き)

[発行時期]

2020年11月
(前回発行：2019年9月、次回発行予定：2021年9月)

報告対象範囲

[対象期間]

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)
一部対象期間外の活動も時期を明示して掲載しています。

[対象組織]

セガサミーホールディングス(株)、(株)セガホールディングス(主な事業グループ会社を含む)、サミー(株)

[掲載されている略称の説明]

(各セグメント)

遊=遊技機事業、**E**=エンタテインメントコンテンツ事業、**R**=リゾート事業、**グループ**=セガサミーホールディングス(株)、エンタテインメントコンテンツ事業、遊技機事業およびリゾート事業

(各セグメントの主要企業)

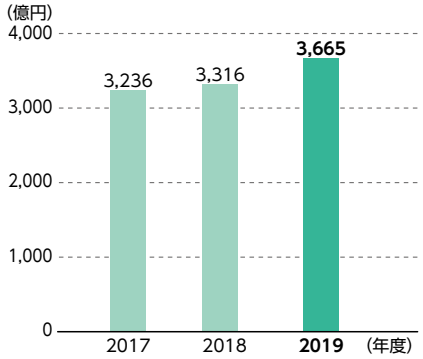
SSHD: セガサミーホールディングス(株)、**SHD:** (株)セガホールディングス、**SAMMY:** サミー(株)、**ATLUS:** (株)アトラス、**BTF:** (株)バタフライ、**DL:** (株)ダーツライブ、**ELEC:** タイヨーエレック(株)、**MARZA:** マーザ・アニメーションプラネット(株)、**PSR:** フェニックスリゾート(株)、**PSS:** (株)パラダイスセガサミー、**RODEO:** (株)ロデオ、**SE:** (株)セガ エンタテインメント、**SGC:** (株)セガゲームス、**SIC:** (株)セガ・インタラクティブ、**SLS:** (株)セガ・ロジスティクスサービス、**SNW:** (株)サミーネットワークス、**SSC:** セガサミークリエイション(株)、**SSGE:** セガサミーゴルフエンタテインメント(株)、**TOYS:** (株)セガトイズ、**TMS:** (株)トムス・エンタテインメント、**銀座:** (株)銀座

・一部、その他のグループ会社も対象組織に含まれる活動があります。

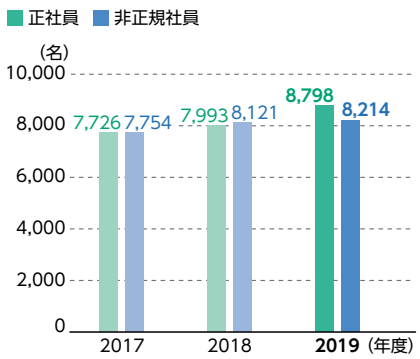
※ 略称やVOICEの所属などは2019年度のものです。2020年度の内容を記載している場合は、組織改編に伴った新社名で表記しています。

パフォーマンスデータ(連結)

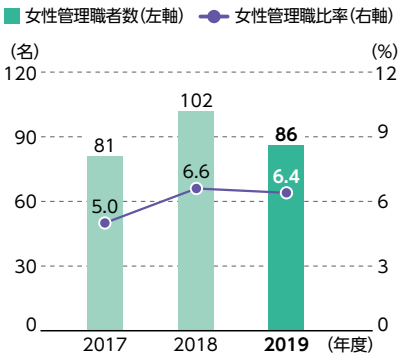
売上高(連結)



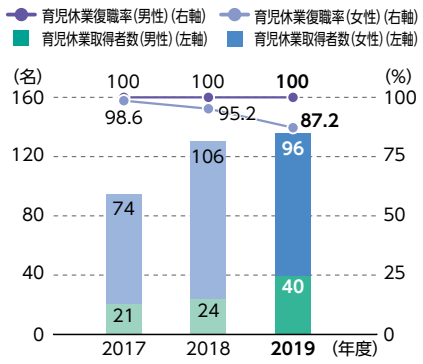
社員数(連結)



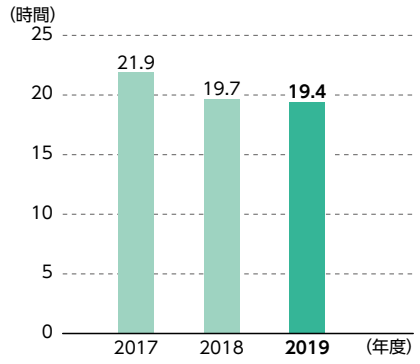
女性管理職者数・管理職比率※1



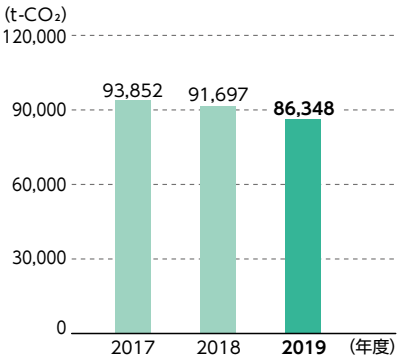
育児休業取得者数・復職率※1



月平均時間外労働時間※1



CO_2総排出量※2



※1 対象範囲・集計方法を一部変更しています。詳しくは P.41を参照ください。
※2 集計方法と対象範囲については、P.48を参照ください。

2015

- グループ会社一般層向けCSR研修導入
- 「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」をお取引先へ説明、協力を依頼
- 東日本大震災被災地(福島県など)での野球教室を開催
- 特例子会社(セガサミービジネスサポート株式会社)を設立

2016

- サステイナブル経営診断の実施
- ステークホルダーダイアログ実施
- 熊本震災被災地で社員ボランティア活動、応援イベント実施
- 「環境コミュニケーション大賞(環境省)」優良賞受賞

2017-2018

- 平成30年7月豪雨社員ボランティア活動
- グループ本社機能を大崎駅南エリアに移転(約6,500名集結)
- 「働き方改革」 わくらぼ開設(イントラ)、 フレックスタイム導入、テレワーク試験導入などを実施
- 統合レポート発行

2018-2019

- 宮城県七ヶ浜町と地方創生に係る包括的連携協定を締結
- コンプライアンス研修(eラーニング)開始
- 「セガサミー そらもり保育園」の開園
- 東京レインボーパレード協賛
- 就業規則に同性カップルの扶養控除手当制度を明記
- テレワークの本格運用開始
- 副業制度「JOB+(ジョブプラス)」の本格施行
- ギャンブル依存症のメカニズム解明に向けた京都大学との共同研究開始

2019-2020

- 一般財団法人 セガサミー文化芸術財団を設立
- 「PRIDE指標」で最高評価となる「ゴールド」を受賞
- 第5回「企業ボランティア・アワード」大賞受賞
- 東京都「心のバリアフリー」サポート企業登録
- CSR公式Twitterアカウント開設



ふさいだ世の中に潤いを与え、総合エンタテインメント企業としての使命を果たす

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長グループCEO
里見 治
Satomi, Hajime

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患された方に衷心よりお見舞い申し上げます。加えて最前線で治療に尽力されている医療関係者の皆さまを敬慕いたします。

いま、エンタテインメントができること

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、世界中で目に見えない不安や閉塞感が漂っています。人が苦しいとき、悲しいときに希望や喜び、勇気を与えることができるのがエンタテインメントです。そして、今まさに、総合エンタテインメント企業であるセガサミーグループの存在意義が問われています。

こうした状況だからこそ、社員一人ひとりが業界における革新者となり、まったく新しいエンタテインメントをつくり上げるという強い気持ちをもって取り組まなければ、あっという間に時代の波に取り残されてしまいます。

セガサミーグループはいつの時代においても、総合エンタテインメント企業として良質なコンテンツの提供を通じて社会に潤いを与える存在であり続けます。

積極さと、やり抜く力を備えた人材の育成

遊技機事業では緊急事態宣言下にあっても射幸性に関する新しい型式適合試験の適合取得を進めつつ、ユーザーの支持を得られる遊技性の高い機種の開発を進めています。

5Gやクラウドをはじめとするインフラの発展によって新しいゲームプラットフォームやビジネスモデルが創出・普及することで、グローバルゲーム市場は継続して拡大されると想定されます。これを見据え、エンタテインメントコンテンツ事業では2020年4月に、セガゲームスとセガ・インタラクティブの2社を統合し、今まで以上に国内R&Dリソースを機動的に再配置し、世界市場での競争力を強化する体制を整えました。

リゾート事業では最大の目標である日本国内での統合型リゾート(IR)参入に向けてのノウハウを蓄積し、IRを成功に導くためのビジネスパートナーとのアライアンスを結びました。

エンタテインメントコンテンツを通して感動体験を創出し、セガサミーグループがさらに飛躍するための体制は整いましたが、これは社員の成長なくしては実現しません。セガサミーグループでは、セガが掲げる「創造は生命」、サミーが掲げる「積極進取」のもと、創意工夫を繰り返し、独創的なアイディアや史上初・世界初の製品を世に送り出してきました。このチャレンジ精神のもと、自分自身が革新者であるという強い気概を持って最後までやり切った先に新しい世界が拓けます。全社員にこのような力が身に付けば、おのずと骨太でありながらも時代の流れに柔軟に対応できる会社に育っていくはずです。

積極的に挑戦し、最後までやりきるという企業風土を浸透・深化させることが結果として持続的な成長につながると確信しています。

社会とともに生きる企業としての使命を果たす

セガサミーグループは2020年10月、「環境」「依存症」「人」「製品／サービス」「ガバナンス」というグループとして取り組むべき5つの重要課題(マテリアリティ)を特定しました。これらを踏まえつつ本業を通じて社会課題を解決することでSDGs達成へ貢献していきます。

こうした考えは社会の中で生かされている以上、当然のことです。本分であるエンタテインメントを軸にした事業活動や、グループの人財やコンテンツによる東日本大震災などの被災地支援といった様々な社会貢献活動に全力を注いだ結果が社会と企業の持続的な発展につながると確信しています。

我々の考えやそれに基づく企業活動・社会貢献について今後もステークホルダーの皆さまにご理解いただけるよう、セガサミーグループ全役員・社員が一丸となって社会的な責任を果たしてまいります。

激しく移ろう時代にあって、私ができることは自身の情熱やこれまで培ってきた経験を全役員・社員に伝え続け、「革新のDNA」をつないでいくことです。新しい時代の、新しいエンタテインメントを創出し、すべての人に感動体験をお届けすることで、グループミッションである「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」を実現します。



新しい社会に必要とされるエンタテインメントを提供する持続可能な企業であり続ける

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役社長グループCOO

里見治紀
Satomi, Haruki

新型コロナウイルス感染症で影響を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、罹患された方が早期回復し、一刻も早く日常生活を取り戻せることをお祈り申し上げます。

新たな日常に必要とされるエンタテインメント企業へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、世界中の人々の暮らし方は急速に変容しました。今まで以上に安心・安全が重視されるとともに、エンタテインメントの存在価値も見直されつつあります。当グループは、このようなニューノーマル（新常態）に必要とされるエンタテインメントを提供していきたいと考えています。それはミッション（存在意義）に掲げる「感動体験を創造し続ける ～社会をもっと元気に、カラフルに。～」そのものであるとも言えます。

セガサミーらしいSDGsの取り組みとは

当グループは、これまでも「ミッションピラミッド」や、革新者として持ち続けるべき「5つの力※（S.S.FIVE＝突破力・共感力・決断力・自制力・徹底力）」を共有することで企業風土の統一を行ってきました。これに加えて、2020年度からは「バリュー（価値観・DNA）」についてもセガとサミーの理念を一つにした「創造は生命×積極進取」を掲げました。

同時に、それぞれの企業が育んできた良き文化を継承することも含め、多様性を尊重する企業風土づくりを積極的に進めていきます。一見、相反するメッセージのように思われるかもしれませんが、そもそも多様性のある事業を行う当グループが感動体験を創造するためには、様々な個性や意見が欠かせません。成長とともに洗練されていく価値観やDNAと同じように、ダイバーシティが当たり前と思える企業風土を醸成することも、持続可能な企業経営に必要です。それゆえに、ダイバーシティへの取り組みは、セガサミーグループとして社会課題解決に貢献すべく特定した5つの重要課題（マテリアリティ）の一つとしています。

マテリアリティの中でもグループの製品／サービスの提供を通じた社会課題への対応は、当グループの特色と言えます。遊びやお客さまニーズの多様化が進む中で、誰もが安心・安全に楽しめるコンテンツを生み出すためには、異なる背景を持った社員が互いに価値観を受け入れ活かすことが欠かせません。総合エンタテインメント企業である私たちは、その先駆者でなければならない責任があります。そして、必ずやこのミッションを成功に導く力があると自負しています。

依存症および環境に対する取り組みについては、物事を生み出すことで生まれる「負」の部分を真摯にとらえ、真正面から向き合っていきます。また、ガバナンスについては、意義ある議論を行うための機会を継続的に設けるとともに、取締役報酬額改訂などを通して経営の透明化も進めています。

当グループの本分である「感動体験」の提供を実現することが結果としてSDGsへの貢献になり、それこそが真のサステナブルであるという考えを全社員に浸透させていきます。

社員とともに持続可能な企業を目指す

社会の構造は刻一刻と変化しています。そして、冒頭にも申し上げたように、新型コロナウイルス感染症が変化のスピードを大きく後押ししています。そのような中でステークホルダーから信頼され、長く愛される企業として存在し続けるためには、世間に対して後ろめたいことをしない、誠実に正しい行いを続けるという「王道」を貫くための固い決意が必要です。企業の最も大切な財産である社員にもそのことを絶えず伝え続けるとともに、社員一人ひとりが社会に対する責任感を強く持ち、行動し続けることで、これからも真に社会に貢献する企業を体現していきます。

※「5つの力」についてはP.13をご参照ください。

世界中の人びとに感動体験を届ける セガサミーグループの 製品・サービス

01 ぱちんこ



Pビッグドリーム2 激神

02 テーマパーク



オアシスパーク

01 パチスロ



パチスロ真・北斗無双

02 家庭用ゲーム





ペルソナ5 スクランブル ザ ファントムストライカーズ



龍が如く7 光と闇の行方



新サクラ大戦

02 アニメーション



それいけ！アンパンマン ふわふわフワリーと雲の国



名探偵コナン 緋色の弾丸

02 アミューズメント機器



DARTSLIVE 3

デジタルコンテンツ 01



777NEXT パチスロ北斗の拳　強敵

02 ゲームセンター



セガ福岡天神

02 アミューズメント施設



オーピィ横浜

02 アミューズメント機器



02 シミュレーターービジネス



ドライビングシミュレーター

(P.05)Pビッグドリーム2 激神　©Sammy　パチスロ真・北斗無双　©武論尊・原哲夫/NSP 1983 版権許諾証KOM-620　©2010-2013 コーエーテクモゲームス　©Sammy　777NEXTパチスロ北斗の拳　強敵　©武論尊・原哲夫/NSP 1983, ©NSP 2007 版権許諾証PGC-GAMES All rights reserved.　龍が如く7 光と闇の行方　©SEGA　新サクラ大戦　©SEGA　それいけアンパンマン ふわふわフワリーと雲の国　©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV ©やなせたかし／アンパンマン製作委員会2020　劇場版『名探偵コナン 緋色の弾丸』エウレカセブン HI-EVOLUTION ZERO　©2017 BONES/Project EUREKA MOVIE ©BANDAI NAMCO Entertainment Inc. ©Sammy　回胴黙示録 カイジ 沼　©福本伸行／講談社・VAP・マッドハウス・NTV・D.N.ドリームパートナーズ　©福本伸行／講談社・VAP・NTV

主な
グループ会社
SAMMY、
ELEC、RODEO、
銀座など

01 遊技機事業

独自性の高い製品を提供するぱちんこ遊技機事業と圧倒的なブランドカを誇るパチスロ遊技機事業を両輪に展開。独自のアイディアを形にする製品開発力、販売機会を確実につかむ製品供給体制、卓越した営業力の三位一体の体制によって、市場ニーズに応える製品を提供しています。近年では、高いポテンシャルを持つ版権を獲得し、コンテンツを最大限に活かす企画・開発力を備えた企業が利益を得られる市場構造となりつつあります。グループの強みを最大限に活用し、ぱちんこ・パチスロ遊技機事業でトップシェアの獲得を目指しています。


P交響詩篇エウレカセブン
HI-EVOLUTION ZERO


回胴黙示録 カイジ 沼

02 エンタテインメントコンテンツ事業

デジタルゲームを中核にアミューズメント機器事業、コンシューマ事業、アミューズメント施設事業、玩具・映像事業まで幅広くエンタテインメントを提供しています。特にスマートフォンやPCオンラインゲームを中心としたデジタルゲーム分野は、当グループの大きな成長領域としてセガゲームスを軸に事業の拡大を目指しています。また、2015年には市場環境の変化や消費者ニーズにいち早く対応できる体制を構築するため、全事業をそれぞれの開発・製造から販売まで一貫した経営体制に再編・分社化しました。これにより、迅速な意思決定を行う体制が整いました。


maimai でらっくす
©SEGA


マウスできせかえ!
すみっコぐらしパソコン


夢ペット・
産んじゃったシリーズ
©SEGATOYS 2019


ぷよぷよ!!クエスト
©SEGA

主な
グループ会社
SHD、ATLUS、
DL、MARZA、SE、
SGC、SLS、SIC、
SSC、TMS、
TOYSなど

03 リゾート事業

統合型リゾート(IR)施設や複合リゾート施設の運営を手掛けています。2017年4月に開業した韓国初のIR施設「パラダイスシティ」では、カジノオペレーションをはじめIR施設の開発・運営を行い、国内IR事業参入を目指して必要なノウハウを蓄積しています。また、宮崎県にある日本有数の複合リゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」では、セガサミーグループが培ってきたエンタテインメントノウハウを施設運営に活用し、これまでにないリゾート空間を創造・提供しています。

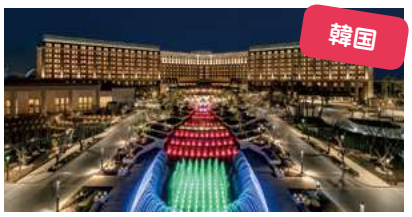

パラダイスシティ


フェニックス・シーガイア・リゾート

主な
グループ会社
PSR、PSS　など

03 韓国初の統合型リゾート施設

2017年4月、韓国・仁川空港のすぐそばに誕生した統合型リゾート(IR)「パラダイスシティ」。カジノやホテル、レストラン、レジャー施設などを備え、そのすべてに極上の空間が広がります。



パラダイスシティ

03 ゴルフ場


ザ・ノースカントリーゴルフクラブ

02 家庭用ゲーム



405 ©Sammy　ペルソナ5 スクランブル ザ ファントムストライカーズ ©ATLUS ©SEGA/ ©KOEI TECMO ©2020 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会　DARTSLIVE3 ©DARTSLIVE Co., Ltd.　(P.06)P交響詩篇 ©Sammy　マウスできせかえすみっコぐらしパソコン ©2019 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

エンタテインメントを通じた地方共創

セガサミーグループは2011年3月の東日本大震災発生直後から、津波で被害を受けた宮城県七ヶ浜町の復興を支援してきました。継続的な支援を行う中で「セガサミーグループにしかできない貢献はなにか」と考えた結果、エンタテインメントを通じた地域課題の解決の実現を七ヶ浜町ともに目指します。私たちにしかできない地方創生で七ヶ浜町を「元気に、カラフルに。」していきます。



これまで　「復興」、そして「創生」へ



セガサミーグループは東日本大震災発生直後より、社員ボランティアによる被災がれき撤去などの復旧作業、被災地を“笑顔、元気に！”をテーマとする応援イベント開催など、さまざまな支援活動に取り組んできました。

そして、2019年にグループ初となる自治体との包括的連携協定を締結し、「七ヶ浜町のみらいに向かって共に創る」という思いを込めて「地方共創」プロジェクトと名付けました。



セガサミーグループ社員が2019年7月1日より町の復興支援員として出向し、新規事業の創出や地場産業支援、地域ブランドの推進など、地域経済の持続的な発展につながる活動に従事しています。

セガサミーグループの七ヶ浜町での主な活動記録

2011年6月～	がれきや汚泥の撤去など
2012年	七ヶ浜町で初の応援イベント
2016年～	新入社員研修を実施

現在　「地方共創」プロジェクトにおける主な取り組み

セガサミーグループ／七ヶ浜町双方での取り組み

- セガ・ロジスティクスサービスのドライビングシミュレーターを導入
- 「七ヶ浜町産業まつり」に出展、売上金を全額寄付
- セガサミーグループ本社社員食堂で七ヶ浜町の食材を使ったイベントを実施



出向した社員は町職員として、町が抱える課題解決に取り組んでいます。その一つとして、高齢ドライバーによる交通事故の抑止と運転寿命の延長につなげようと、「ドライビングシミュレーター」を導入しました。自治体では全国で初めての取り組みです。電車がない七ヶ浜町では高齢者のマイカー需要度が高いため、身近に運転技術・運転脳年齢をチェックできる機会を提供し、さらには、ドライビングシミュレーターをきっかけとした地域交流の促進効果も期待されています。

また、グループのリソースを通じて町の方々笑顔を届けようと、役場職員と連携し、地域イベントに積極的に参加しています。七ヶ浜町産業まつりでは、出展ブースの売上の全額を町観光協会に寄付しています。現地での活動に加えて、セガサミーグループ社員にも町のことをもっと知ってもらおうと、出向者の発案でセガサミーグループ本社社員食堂で「しちがはま－食－」と題して、七ヶ浜町産食材を使用したメニューの提供や産直販売会を開催しました。



地方共創プロジェクトに参加して　町の人たちの「思い出に残る仕事」を続けたい



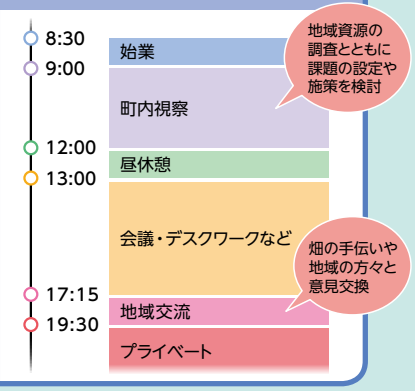
サミー(株)
副町長付き(防災対策室兼長寿社会課勤務) 復興支援員
石田 浩史 (Ishida, Hiroshi)



サミー(株)
政策課 復興支援員
蛭田 賢和 (Hiruta, Masakazu)

業務を通じて感じるのは、住民一人ひとりの「顔が見える町」であるということ。町のために何ができるかを考え、日々新たな発見があることを信じて業務に邁進しているうちに、あっという間に1年が過ぎました。町の皆さまに「七ヶ浜に詳しくなった」とお声がけいただくこともありますが、出会った方々のご厚意やご協力があってのことです。セガサミーグループの社名を知らなくても、私たちがこれまで行ってきた「生涯学習フェスティバル」をご存じで、お孫さんとの思い出を笑顔でお話しいただいたことがとても印象的でした。引き続き、私たちの活動が町の皆さまの心の中にいい思い出として残すことができるよう、尽力したいと思います。

職員のある1日の時間割









七ヶ浜町ってどんなとこ!?

宮城県中央部に位置する面積13.27km²の東北で一番小さな町です。日本三景の一つである松島の南部で三方を海に囲まれた豊かな自然がありながらも、東北最大の都市である仙台市から20km圏内という好立地です。
東日本大震災では、津波で町の面積の3分の1以上が瞬く間に飲み込まれ、美しい海辺の風景に大きな傷あとを残しました。

東日本大震災発生前(2011年)との人口・世帯数比較 (2020年(令和2年)7月1日現在)

人口	18,506人	震災後 ▲2,349人 (−11.2%)
世帯数	6,733世帯	震災後 165世帯 (+2.5%)

これから

七ヶ浜町の未来に、総合エンタテインメント企業だからできること





住民が参加した
グループワークの様子

七ヶ浜町は、被災直後の2011年4月には2015年度までを計画期間とする「七ヶ浜町震災復興計画前期基本計画」を策定、現在は2020年度までの後期基本計画に取り組んでいます。

復興の完遂は間近ですが、計画の目的は震災以前の姿を取り戻すことではありません。町がにぎわい、そこに住む人たちに笑顔があふれ、心が満たされてこそ、真の復興が実現します。

地方共創プロジェクトでは、小学校におけるプログラミング教室や子どもから年配者までが楽しめるスポーツダーツ、eスポーツ大会開催による地域内外の交流など、セガサミーグループが持つ総合エンタテインメント企業としてのノウハウや製品・サービスを効果的に活用していきます。これまで互いに育んできた絆をより深め、手を取り合いながら、住んでいることを誇りに思える七ヶ浜町を行政や住民とともに創り上げていきます。

●長期総合計画と総合戦略の関係

長期総合計画

基本理念 (目標年次:2020年度)

自然との調和により、人間らしく生き、快適で住み続けられるまちづくり

うみ	ひと	まち
自然との調和	人間らしく生きる	快適ですみやすい

総合戦略

重点ビジョン(目標年次:2060年度) **人口減少と地域経済縮小の克服**



VOICE



七ヶ浜町長　寺澤 薫氏

町に新しい風を吹き込む「セガサミーイズム」に期待しています!

セガサミーグループの皆さまには、本町の復興に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。2019年は、セガサミーホールディングスとの包括的連携協定締結や社員の派遣など、本町とセガサミーグループとのつながりがより深まった1年だったと感じております。

2019年7月に着任以来、復興支援員としてすっかり町に溶け込まれ、様々な場面においてセガサミーイズムとでも申しましょうか、存在感を示してくれます。皆さまには、役場をはじめとし新しい風を吹き込んでいただいて、大きな刺激をもらっております。今後、薫陶を受けた若い職員の活躍を大いに期待するところであります。

震災から10年目を迎えましたが、町民の心の復興はこれからも続いてまいります。加えて、新型コロナウイルス感染症は、今後のまちづくりをはじめ、あらゆる場面において影響が懸念されます。

1日も早く平穏な日常が戻ることを祈りつつ、皆さまからの心温まるご支援のもと、今後もより一層、力強くまちづくりに邁進してまいりますので、これからも長いお付き合いの程よろしくお願い申し上げます。

笑顔 元気 を届ける！

セガサミーグループの

復興支援活動

東日本大震災 活動のあゆみ

2011年3月11日
14時46分
東日本大震災 発生

2011年4月上旬
社員ボランティア
派遣決定

セガサミーグループは東日本大震災直後から、継続的な被災地支援を行ってきました。現地の要請に合わせて、グループのリソースを用いた多種多様なボランティア活動を実施しています。

活動アラカルト

（2011年3月から2020年3月時点）

支援金

約4億円

社員ボランティア活動＆応援イベント

回数	参加人数	来場者数
計100回	のべ1,237名	のべ35,620名（セガサミーグループコーナー遊技者数）

東日本大震災 被災地応援イベント

2019年度は宮城県塩竈市、東松島市、女川町、七ヶ浜町、南三陸町にて、遊技イベントおよびスポーツイベントを開催しました。

遊技イベントでは、社員ボランティアが運営全般を担当。キラデコシールアート、クラフトスマートボール工作、スマートボール、ダーツ、フラッシュパッド、UFOキャッチャーなど、セガサミーグループのリソースを活用した遊技コーナーのほか、社員による創作綿あめを用意し、全世代が楽しめる機会を創出しました。



【おながわ秋刀魚収穫祭 2019】

(株)サミーネットワークス マーケティング本部 メディア営業部

廣澤 潤一（Hirosawa, Junichi）

初めてのボランティア参加でした。最初は子どもだけで挑戦していたゲームに途中から参加し、本気で攻略しようと徐々にヒートアップする保護者もいらっしゃいました。親子でゲームを楽しむ姿を目の当たりにして、家族で楽しめるゲームを提供することの重要性を実感できました。

また、普段交流のないグループ会社の社員と一緒に活動できたことで、セガサミーグループとしての一体感を感じられました。「感動体験を届ける」という目的での参加でしたが、私自身が来場者の皆さんから感動をいただき、参加して良かったと実感しました。



【東松島夏まつり 2019】

(株)セガゲームス

国内アジアパブリッシング事業本部

プロモーション統括部 グラフィックデザイン部

渋田 俊輔（Shibuta, Shunsuke）

今までボランティアの経験はありませんでしたが、以前から興味があり、初めて参加しました。

通りかかる方々へ挨拶やゲームの説明をしていると笑顔を多くいただくことができて、エンタテインメントの可能性を強く感じることができました。地域やグループ会社の社員とともにイベントを盛り上げていく経験は個人ではなかなか得ることが難しいと思いますが、そのサポートを会社が行うことはとても意義があることであり、ボランティア参加者が増えることを期待します。

【メリークリスマスin東松島 2019】

(株)ダーツライブ

DLサービス戦略本部 SPORTS推進部

神保 友香（Jimbo, Yuka）

ダーツコーナーを担当しました。1回のプレイに時間がかかり、待ち時間が長いうえに、賞品も獲得しづらいコーナーでしたが、絶え間なくたくさんの方々に遊んでいただきました。中には、何回も挑戦してくれたり、「来年も来てくださいね」と言ってくれる子どももいて、楽しんでもらえたと思います。私は2回目の参加でしたが、1回目より緊張が解けて、お客さんと同じように楽しめました。

震災から9年が経ち、実際に震災を経験していない子どもも増えてきましたが、私たちの「人を楽しませたい」という初心を忘れないためにも、この活動は続けていきたいです。



2011年
6月29日
第1回 社員ボランティア活動実施
がれき撤去など
インフラ復旧を支援

2011年
12月18日
第1回 被災地応援イベント実施
セガサミーグループの
リソースを活用した
心の復興を支援



2019年4月
七ヶ浜町との
包括的連携協定締結

活動継続

復旧期

復興期





スポーツイベントでは、元・東北楽天ゴールデンイーグルス投手の斎藤隆氏を迎えての野球教室や、セガサミーグループアンバサダーの松田丈志氏による水泳教室を実施。子どもたちの夢や可能性を育む活動を行いました。



【水泳教室 with 松田丈志 2019】
セガサミーホールディングス(株)
CSR・SDGs推進室
石井 優貴 (Ishii, Yuki)

今年で4年目を迎える水泳教室も、大盛況のうちに終えることができました。

トークショーでは、純粋に「仲間を大事にしよう」ということだけでなく、「仲間を大事にすると結果も付いてくる」ことや「仲間を得るためにも努力が必要である」ことを教えていただきました。松田氏のお話からは私たち大人も学ぶことが多く、子どもたちに感動体験を提供する、という本来の目的もさることながら、同席された保護者にも新たな価値観や感動を提供できたと感じました。

【2019 南三陸町産業フェア】
セガサミーホールディングス(株)
財務経理本部 グループ経理統括部
エンタテインメントコンテンツ経理部
真野 由季子 (Mano, Yukiko)



前年度に続き、2回目の参加でした。今回はスマートボールを担当しましたが、開始直後から徐々にお客さまが増えていき、終了時間まで行列の絶えない現場となりました。運の要素が大きいゲームですので「777」が出た時は自分が獲得したかのように大喜びしてしまいました。

参加者とお話する機会にも恵まれ、また、地元の高校生もお手伝いに参加してくれたりと、多くの方々と交流ができて充実した2日間となりました。普段の業務ではお客さまがゲームをして遊ぶ姿を見かけたり、ほかのグループ会社の社員と話す機会はほとんど無いので、CSR活動を通して貴重な体験ができました。



【野球教室with斎藤隆 2019】
セガサミーホールディングス(株)
総務人事本部 グループ総務統括部 ファシリティサービス部
天沼 秀樹 (Amanuma, Hideki)



私が野球部に在籍していた第47回JABA東北大会(2016年)以来、久々に宮城県を訪れました。その時は、東日本大震災から復旧したとはいえ、まだ爪痕が残っているような印象を受けました。

しかし、震災当時まだ小さかった子どもたちが立派な中学生となり、今回の野球教室に笑顔で参加している姿を見て、私たちが元気をもらいました。斎藤隆さん・セガサミー野球部OBからの指導を受けているあの真剣な横顔は忘れられません。

七ヶ浜の子どもたちと野球を通じ、とても楽しい触れ合いの時間を持てたことにより、「野球って素晴らしいな」と再認識しました。

2019年台風15号、19号、千葉県豪雨社員ボランティア

2019年8～10月にかけて台風15号、19号をはじめとする豪雨が発生し、日本各地に甚大な被害をもたらしました。その被害の大きさに鑑み、サミー川越工場がある埼玉県川越市と、セガ・ロジスティクスサービス佐倉事業所および佐倉南総事業所がある千葉県佐倉市で、社員ボランティア活動を行いました。



【埼玉県川越市】
サミー(株)
生産統括本部 生産企画本部 リユース推進部
横関 英雄 (Yokozeki, Hideo)

川越市は私が幼少のときに遊んでいたところです。少しでも力になれたらと思い、初めてボランティア活動に参加しました。

活動当日、午前中は河川の氾濫で流されてきた木材やごみなどを集め、午後は床上浸水した発達障害者支援センターで清掃を行いました。流れ込んだ泥は何回かき出しても無くならず苦労をしましたが、なんとか目標の一部屋をきれいにすることができました。参加したメンバーとも話しましたが、大の大人が数人集まってもできることはほんの少し。一晩で被災し復興には何ヶ月何年もかかると思うと、自然災害の恐ろしさと同時に人間の無力さを実感しました。

今後も業務の調整をし、ボランティア活動に参加したいと思います。



【千葉県佐倉市】
(株)セガ・インタラクティブ
企画設計生産本部
稲 幹男 (Ina, Mikio)

20代の生活基盤だった佐倉市で人生初のボランティアを行なえたことは感慨深いものがありました。佐倉市の被災状況を報道などで見る度に心配していました。

今回の活動は、壊れてしまった農家のビニールハウス解体撤去という複雑なものではありませんでしたが、段取りを含め作業指示をしてくださった方々の指導の下、順調に怪我無く作業ができました。被災された方の笑顔が見られてとても良かったです。

【東京都八王子市】
セガサミーホールディングス(株) 野球部
北阪 真規 (Kitasaka, Masaki)



野球部の活動拠点がある八王子市内は河川が氾濫し、セガサミー野球場近くの斜面も崖崩れを起こすなど、甚大な被害を受けました。週末には戸吹清掃工場主催の野球教室を予定していましたが、中止となったこともあり、高尾地区でのボランティア活動に参加させていただきました。

主に土砂、ガレキの撤去をお手伝いさせていただきましたが、雨水を含んだ土砂は非常に重く、土のう袋に入れトラックへ運ぶ作業だけでも一苦労でした。高齢者の多い地域でもあり、喜んでくれる住民の皆さんの顔を見ることができたので、本当にやり甲斐のある活動になりました。

現地で感じたのは「若者の手が足りない」ということでした。またお役に立てる機会があれば率先して参加したいと思います。

第5回企業ボランティア・アワード大賞受賞

セガサミーグループは、継続的な東日本大震災復興支援活動や各地での社員ボランティア活動が評価され、社会福祉法人 東京都社会福祉協議会が実施する「第5回企業ボランティア・アワード」において、大賞を受賞しました。授賞式にはセガサミーホールディングスCSR・SDGs推進室長のほか、社員ボランティア活動経験者2名、復興支援団体の代表者1名も列席。被災地域団体との連携や社員参加型の活動に対し、多くの方から称賛をいただきました。



2020年度新入社員研修について

2013年度より、グループ新入社員研修の一環として東日本大震災の被災地訪問を実施しています。例年は4月に実施していますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、訪問を延期(実施時期未定)しました。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、既存の生活様式を揺るがす大きな変化を社会にもたらし、企業は安心・安全に関わる施策や働き方の見直しを迫られました。当社グループも国や自治体の方針に従い、アミューズメント施設やリゾート事業の営業自粛、リモートワークの積極的な実施、社員と家族へのマスク配布など感染予防・拡大防止に努めています。

商業・遊技施設における対応





新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受けて、当社グループが運営する施設に関して、お客さまと社員の安全確保を最優先に考え、現在も対策を継続しています。2月29日に他施設に先駆けてオービィ横浜の臨時休館を決定した以降も、地域の感染状況や自治体の方針に沿って商業施設やゲームセンターを休業しました。緊急事態宣言解除後から順次営業を再開し、換気や不特定多数の人が触れる機器の都度消毒、入場制限などの3密（密集・密閉・密接）回避に取り組んでいます。加えてスタッフの体調管理やマスク着用、こまめな手洗い・うがいや消毒などを徹底しています。

また、全国の施設向けに計124,700枚のマスクを配付したうえで、お越しいただいたお客さまにもマスク着用や消毒、ソーシャルディスタンスの確保、発熱などの症状のある方へのご来場のご遠慮といったご協力をお願いし、感染拡大防止に努めています。

自治体へのマスク寄贈

エンタテインメントを通じて、グループミッションである「社会をもっと元気に、カラフルに。」を実現するため、セガサミーグループに関わりのある自治体や団体へのマスク寄贈を行いました。

本社のある品川区の「しながわ子ども食堂ネットワーク」や地方創生に係る包括的連携協定を締結する宮城県七ヶ浜町、セガサミー野球部の活動拠点である東京都八王子市の社会福祉協議会に計12,500枚のマスクを寄贈しました。



本社・グループ企業における対応

お客さま、お取引先さま、社員とその家族の安全確保と感染拡大の抑制・早期終息に向けて、本社およびグループ企業の社内向け対策にも注力しています。

緊急事態宣言の発出時には、会社が特別に許可した経営維持・企業存続のための重要業務に携わる必要最低限の人員を除いて全社員を在宅勤務にしました。

当社グループは2019年4月から働き方改革の一環として在宅勤務制度を導入していたこともあり、生産性の低下もなくスムーズにリモートワークへ移行できました。全社在宅勤務によるコミュニケーション不足や閉鎖された状況下で社員の不安やストレスの軽減を目的に、社長とのオンラインミーティングを実施し、グループとして改善すべき点や課題を多くの社員と共有することができました。

宣言解除後も在宅勤務、時差出勤を推奨するとともに、出社前の検温、出社中のマスク着用、手洗い・消毒、3密状態の回避やソーシャルディスタンシングを意識した行動の徹底を図っています。このほか出張の原則禁止、来訪・往訪の自粛、社内外イベント実施の制限といった規則を設けています。

また、グループイントラネット「COMPASS＋」内に「新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ」ページを開設し、社長メッセージや在宅勤務に関する注意点などの情報を積極的に発信しています。大崎本社では、やむを得ず出勤する社員に1日1枚マスクを配布するなど、引き続き安心して働ける職場環境の整備を進めています。



オンラインミーティングの様子

マネジメント

セガサミーグループの理念体系

グループミッションピラミッド

セガサミーグループは、オリジナリティ溢れるエンタテインメントを通じて感動体験をご提供するという考えのもと、国際社会の一員であることを強く意識し、様々なステークホルダーとコミュニケーションを図りながら、良き企業市民として社会からの倫理的・公共的な期待に応え、社会の持続可能な発展に寄与する価値の提供に取り組んでいます。また、事業活動に留まらず、芸術・スポーツをはじめとするの文化の発展支援など、グループ全体で様々な社会活動を継続的に実施し、社会をもっと元気にカラフルにすることで、豊かな社会の実現と文化の創造を目指します。

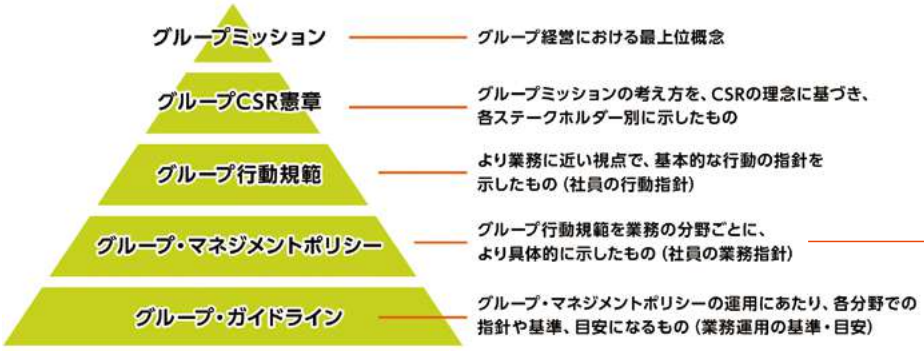
2017年にはグループミッションを策定し、その浸透を図るためグループおよびグループ各社のミッションピラミッドを策定しました。ミッションピラミッドは、DNAであるValue(価値観・DNA)、Mission(存在意義)、Vision(ありたい姿)からなり、最終的には各事業部門や社員個人の目標までリンクすることで、異なる事業・業務環境のもとでもベクトルを合わせ、一体となって持続的な成長を行う道標となるものです。

グループミッション　　感動体験を創造し続ける　～社会をもっと元気に、カラフルに。～

「創造は生命(いのち)」、「積極進取」という価値観を共有しつつ、常に革新者として世界中のあらゆる人々に感動体験を提供し続けます。
社会をもっと元気に、カラフルにすることで豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。







グループCSR憲章
https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_charter/

グループ行動規範
https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_csr/

グループ・マネジメントポリシー
https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy/

グループ・ガイドライン
https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101_supplychain_csr.pdf

「危機管理」「ITセキュリティ」「クラウドサービス利用」「SNS利用」「海外贈収賄禁止」に関する各ガイドラインを定めています。なお、CSR調達に関してはガイドブックとして開示しています。

セガサミーグループのCSR

セガサミーグループは、CSR活動を当社グループの持続的価値創造と社会の持続的発展の双方を実現するための重要な活動と捉えています。

「セガサミーグループのCSR・SDGs活動の推進に関する方針」を定め、CSR活動にSDGsを関連づけ、重点取り組みテーマを定めています。また定期的にステー クホルダーの意見や要望を確認し、重要課題の確認を行い、グループの活動を内外に発信します。

セガサミーグループCSR・SDGsに関する方針
https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/

グループCSR・SDGs推進方針について

セガサミーグループはSDGsを踏まえたCSR活動を推進するに当たり、優先して取り組むべき5つの重点課題（マテリアリティ）およびその重点項目を特定しました。特定のプロセスにおいて、米国サステナビリティ会計基準審議会（SASB）のマテリアリティマップなどを参考にしました。

5つの重点課題

1. **環境**
製造過程の環境負荷低減を重視した製品設計やリサイクル、リユースを通して、より効率性を上げる取り組みのほか、環境保全や消費電力の削減などの取り組みを進めます。

2. **依存症**
ゲームに没頭して健康に深刻な障害が出る「ゲーム障害」や、ぱちんこ・パチスロの「のめり込み問題」、統合リゾート（IR）事業と関連性の深い「ギャンブル依存症」をはじめとした依存症問題の対応・予防への取り組みを進めます。

3. **人**
多様な人財が働きがいを持って活躍できる環境をつくり、創造性豊かな企業風土を形成していくほか、ダイバーシティを当然のこととし、人権の尊重と差別の禁止、弱者保護による不平等の排除を徹底します。

4. **製品／サービス**
エンタテインメントを通じて感動体験を創造し、社会をもっと元気に、カラフルにするために、革新的な製品の提供を可能とする開発プロセスの構築、製品・サービスの持続的な品質向上、安心・安全に楽しめる製品・サービスの提供を行います。また、事業を活かした社会課題解決にも積極的に取り組み、継続的な成長・企業価値の最大化につなげていきます。同時に、良き「企業市民」として、グループ全体で、地域社会の皆さまと積極的に対話しながら、多様なエンタテインメントおよびその振興を通じて社会への貢献を進めていきます。

5. **ガバナンス**
コンプライアンスやリスク管理を含めたコーポレート・ガバナンスを重視し、法令遵守体制、内部統制システムの強化を行い、企業経営の健全性確保、透明性向上、効率性向上を目的としたガバナンス経営を徹底します。また、積極的な啓発活動を通じて社員一人ひとりが社会に対する責任感を自覚し、セガサミーグループらしいCSR・SDGs活動を実践することで、社会から信頼され、長く愛される企業として存在し続けることを目指します。



セガサミーグループは積極的な啓発活動を通じて社員一人ひとりが社会に対する責任を自覚し、総合エンタテインメント企業らしいCSR・SDGs活動を実践することで、社会から信頼され、長く愛される企業として存在し続けることを目指していきます。

セガサミーグループのCSR・SDGs活動の推進に関する方針
https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/

CSR・SDGs推進体制

セガサミーホールディングスに設置されているグループCSR推進室を2019年4月にCSR・SDGs推進室へ改称し、グループのCSR・SDGs活動を統括・管理・支援しています。さらに、SDGsに対する取り組み強化にあたり、CSR・SDGs推進室においてグループ内のプロジェクトへのマーケティングを支援する機能の拡大を図っています。

2019年5月には、国内グループ会社全役員に対しSDGs研修を実施し、主要事業会社11社でSDGs重点取り組みテーマをベースにした社会課題解決を目指した取り組みを始めています。活動状況については、定期的にホールディングス取締役会に報告を行っています。グループでの活動推進、のため、セガサミーホールディングスのCSR・SDGs推進室長を議長としグループ会社のCSR責任者が参加する「グループCSR事務局会議」を設けています。CSR活動に関する施策の計画・実行・評価・改善(PDCAサイクル)などを行うため、原則として年に1回開催しています。

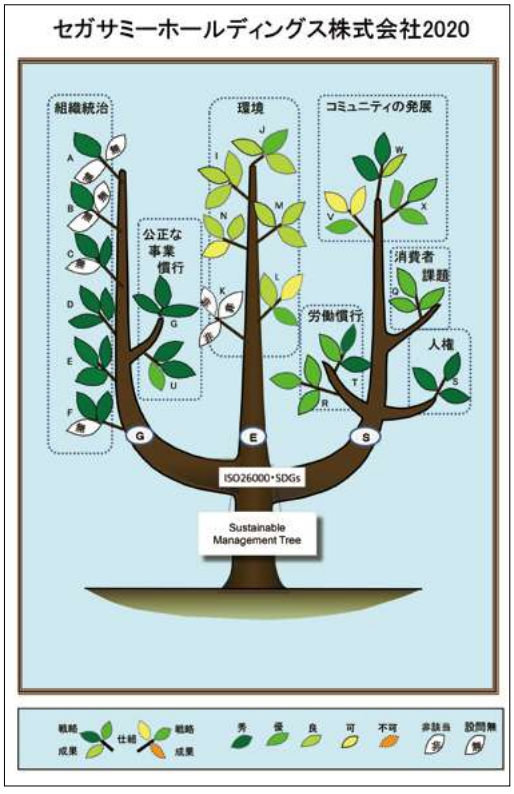
なお、CSR・SDGs活動の状況については、「CSR BOOKLET」をWEB開示しグループ内外に活動状況を報告するとともに、本レポートを社員向けに編集した「CSR COMMUNICATION REPORT」に付属しているアンケート(2019年度回答数1,036件)の回答状況(経営理念、行動規範の浸透度など)をセガサミーホールディングス取締役会にて報告しています。

ステークホルダーとのかかわり

セガサミーグループの事業活動は、5つのステークホルダー(「お客さま」「お取引先」「株主・投資家」「社員」「社会(環境と社会貢献)」)とのかかわりの中で成り立っています。ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、信頼関係を深めながら、ご意見やニーズを事業活動に反映することに努めています。

環境経営学会による経営評価および専門家によるステークホルダーダイアログ、マテリアリティの設定

2016年より、認定特定非営利活動法人環境経営学会 経営診断推進委員会によるサステイナブル経営診断を受けています。診断の結果、評価の平均評点獲得率は82.5%と、3年連続で向上しました。ガバナンス分野については97.3%と各項目で高い水準が維持されています。環境分野では、環境負荷が比較的小さい業種のため62.2%とやや低い水準の評価に留まっているものの、初回の診断以来着実な進化をしています。特に地球温暖化の進行による事業影響が重要化する中で金融業界から求められているTCFDへの対応を行っていること。さらに、サプライチェーン、バリューチェーンを含めた事業全体でのCO_2排出に関わる概要把握(スコープ3レベル)を進めているといった昨年度の指摘を踏まえて強化した取組みが評価されました。また、社会分野では、宮城県七ヶ浜町と地域連携協定を締結し社員の派遣を行ったことやグループ主要各社でのSDGs推進の進捗から86.7%へと進展しました。現在、コロナ禍の影響を受け、モノづくりを含め社員の働き方が大きく変化してきています。今後については、テレワークやEC販売等新しい働き方や販売の仕方を一層推し進めることを通じて、更なる環境負荷軽減などを推進してまいります。



結果ツリー図

国連「グローバル・コンパクト」への参画

セガサミーグループは、2014年4月、「国連グローバル・コンパクト」(以下、UNGC) への支持を表明し、署名しました。UNGCとは「各企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組み」です。私たちは、UNGCが掲げる10原則に基づき責任ある経営を推進することによって、持続可能な社会づくりに貢献していきます。また、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (以下、GCNJ) 内に組織されている、サプライチェーン、女性のエンパワーメント原則 (WEPs)、SDGs研究分科会などの活動に参加し、他社との情報共有を行うほか、GCNJの活動に貢献し、社会の課題解決に向けて積極的に取り組んでいます。

国連「グローバル・コンパクト」項目と10原則		当社グループ「CSR BOOKLET」	関連ページ
人権	原則1：人権擁護の支持と尊重 原則2：人権侵害への非加担	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、セガサミーグループのCSR お取引先とともに：公平・公正な購買のために 社員とともに：人権の尊重	P.13-20 P.30-33 P.34-41
労働	原則3：結社の自由と団体交渉権の承認 原則4：強制労働の排除 原則5：児童労働の実効的な廃止 原則6：雇用と職業の差別撤廃	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、セガサミーグループのCSR お取引先とともに：公平・公正な購買のために、CSR調達研修、お取引先とのパートナーシップ 社員とともに：人財の育成と評価、多様性の推進、人権の尊重、働きやすい職場環境の整備	P.13-20 P.30-33 P.34-41
環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ 原則8：環境に対する責任のイニシアティブ 原則9：環境にやさしい技術の開発と普及	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、セガサミーグループのCSR 社会とともに【環境】：グリーン電力証書システムの導入、製品の環境配慮設計、12年目を迎えた森林の里親活動～「セガの森」～、シーガイア ビーチクリーンin一ツ葉	P.13-20 P.44-48
腐敗防止	原則10：強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、セガサミーグループのCSR マネジメント：コンプライアンス お取引先とともに：公平・公正な購買のために	P.13-20 P.17-18 P.32

CSR推進活動

意識の醸成

セガサミーグループでは、社員一人ひとりがグループCSR憲章を理解し、その精神に基づいたグループ行動規範に沿って行動してこそ、当社グループが掲げるグループミッションを実現できると考えています。セガサミーホールディングスCSR・SDGs推進室では、グループすべての社員を対象にCSR活動の重要性や取り組む意義を伝えながら、それぞれの理解度に合わせた各種研修をはじめとした浸透策を企画し、実行しています。

また、「CSR COMMUNICATION REPORT」を全社員に配布し、CSR意識の浸透とグループ一体感の醸成することで社内の意識向上に努めています。



全社員に配布している「CSR COMMUNICATION REPORT」

CSR研修

2013年10月から、グループ会社のマネジメント層並びに一般層向けにCSR研修を実施しています。2019年度はグループ会社13社、761名が受講し、2013年からの総受講者数は4,090名となりました。講義やグループワークを通じて、事業をとりまく社会環境の変化を学び、「社会と企業の共生」や「企業の持続的成長・発展」についての理解と参加者同士のコミュニケーションを深めました。

修了時には、受講者全員が「CSR推進宣言」を提出し、セガサミーグループの一員としての存在意義を再確認する機会を設けています。今後も「社会から期待され、信頼され、尊敬される企業、そして社員が誇れるグループ企業」を社員一人ひとりが意識して行動できるように、研修を継続していきます (CSR研修の内容詳細についてはP.40をご参照ください)。


CSR研修のグループワーク

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスについては、当社グループ統合レポートをご参照ください。

統合レポート、コーポレート・ガバナンス
https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/pdf/printing_annual/2020/al2020_all_7.pdf

コンプライアンス

基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ行動規範」および「グループ・マネジメントポリシー」に基づき、一人ひとりがコンプライアンスを理解し意識した言動を行えるよう、様々な取り組みを行っています。

コンプライアンス推進体制

推進体制の概要と強化

セガサミーホールディングスコンプライアンス推進室長が議長を務め、年2回開催される「グループコンプライアンス・リスク連絡会議」(セガサミーホールディングス社長、取締役、管理系本部担当執行役員、主要グループ会社のコンプライアンス推進部門管掌役員・部長、監査役が出席)のもと、法令・社会規範を遵守した健全な企業経営を展開するための社内体制構築を図っています。

内部監査

セガサミーホールディングス経営監査部では、グループ各社に対しコンプライアンス徹底のために各種テーマ監査に加え、グループ企業の遊技、宿泊並びにゴルフ場などの各施設、提供する食品の安全性などに関して定期的に内部監査を行っており、さらにお客さまの安全を第一に、改善項目に関するモニタリングを実施して改善状況を確認しています。また、監査上の重要事項については年2回セガサミーホールディングス取締役会に報告を実施しています。

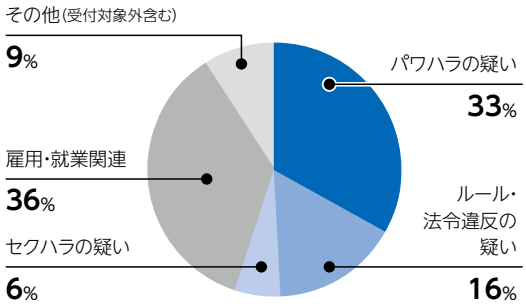
■ 主な改善事例

取り組み	進捗・実績
全国のアミューズメント施設74店舗にて、お客さまに怪我や事故などが発生しないように安全点検を実施しています。	2019年度は点検の結果、211件に改善の指摘や是正を依頼しました。 ① 施設設備および備品に係る事項　123件 ② 遊技機などに係る事項　71件 ③ 食の安全に係る事項　17件
統合リゾート(IR)事業を推進する上で必要とされるコンプライアンス徹底、並びに安全管理に係る状況についての監査を実施しています。	重要性の高いテーマの監査を実施し、改善事項は定期的にフォロー監査で確認しています。 ① 働き方改革関連法への対応状況 ② 個人情報の管理状況 ③ 情報セキュリティの対応状況
グループ内のレストランで提供する食への安心・安全を高めるために、提供する食材の産地やメニュー表示の適正性の確認を行っています。	• 食材産地やメニュー表示に関して検証した結果、正しい産地表示や誤表示防止対策を確認しています。 • 料理長を中心に、行政主催の研修会や保健所による講習会への参加などの取り組みを確認しました。

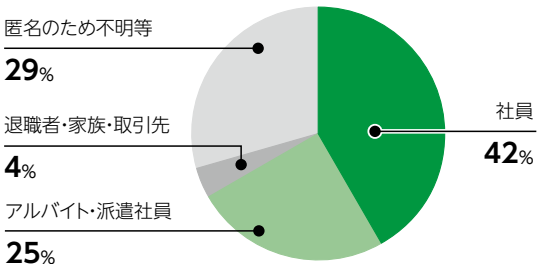
内部通報制度

グループ内での自浄機能を作用させ、法令違反や不正行為などを未然に防ぐため、社内外に「セガサミーグループ企業倫理ホットライン(内部通報制度)」を設置しています。セガサミーホールディングスは、2019年12月13日付で、消費者庁所管「内部通報制度認証(自己適合宣言登録制度)」の登録事業者として登録されました。本認証は、企業の内部統制およびコーポレート・ガバナンスの重要な要素である内部通報制度の適切な整備・運用の促進を図るために、2019年2月より消費者庁が導入したものです。事業者が自ら内部通報制度を評価し、「公益通報者保護法を踏まえた内部通報制度の整備・運用に関する民間事業者向けガイドライン」に基づく内部通報制度認証基準に適合している場合、指定登録機関が自己適合宣言登録事業者として登録するものです。2017～2019年度の実績(国内)は、19件、24件、136件でした。なお、2019年度の通報内容の内訳と通報者の属性は以下の通りです。

■ 通報内容の内訳（2019年度）



■ 通報者の属性（2019年度）



コンプライアンス推進活動

ルールの徹底と意識強化

コンプライアンスの意識向上と理解醸成を図るため、グループ各社向け階層別啓発活動を実施しています。外部講師を招いた社内セミナーや、定期的に発信するメールマガジン、遭遇しそうな具体例を編集した「コンプライアンスハンドブック」、漫画を使って分かりやすくした関連記事などのイントラネットへの掲載など、グループ全社員を対象に啓発活動に取り組んでいます。

2019年度より、グループ全体のコンプライアンス違反の未然防止と体制強化を目的に、コンプライアンス推進室を設置。グループ23社を対象とした統一的なコンプライアンス知識習得を目指したeラーニングを導入しました。またコンプライアンス意識調査（回答率94%）を実施し、グループ内におけるリスクの把握と改善を遂行するべく、重点的な研修実施に取り組んでいます。

■ コンプライアンス研修実績（2019年度）

	研修回数（回）	受講人数（名）	対象企業
新任役員	1	13	SSHD、SHD、SAMMY、SE、SGC、SIC、TMS、TOYSなどグループ全社
既任役員	2	134	
合計	3	147	
管理職（東京会場）	28	1,109	SSHD、SHD、SAMMY、SE、SGC、SIC、TMS、TOYSなどグループ23社
管理職（地方会場）	6	68	
合計	34	1,177	

■ eラーニング実績（2019年度）

	受講科目数（科目）	受講人数（名）	対象企業
管理職	5	6,549	SSHD、SHD、SAMMY、SE、SGC、SIC、TMS、TOYSなどグループ23社
一般職	4		

※ 略称は、P.2参照

反社会的勢力の排除

セガサミーグループは、反社会的勢力による経営への関与の防止のために、グループ行動規範に反社会的勢力との一切の関係を排除する旨を明記するとともに、お取引先との契約書にいわゆる暴排条項を組み込み、お取引先が反社会的勢力に該当するか否かのチェックシステムをグループとして導入しています。反社会的勢力からの接触を受けた際は、警察・弁護士などを含め外部機関と連携して組織的に対処します。

腐敗防止

「グループ行動規範」において、(1) 贈賄をはじめ利益供与、便宜供与とみられるあらゆる腐敗を防止すべきこと (2) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、関係法令に基づき定めた社内ルールを遵守して、公明正大に行うべきことを明記しています。2014年7月に「海外贈収賄禁止に関する方針」を策定し、リスク分析の上で関連部門への研修や定期的な確認メールの配信などを実施しています。

リスク・マネジメント

基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」に基づき、事業の推進および企業価値の維持・向上を妨げる重大なリスクに対し、平時より対策を検討し、損失を最小化する体制を構築することで、様々なステークホルダーへの影響を極力小さくするよう最大限の努力を行い、社会から強い信頼を得る企業を目指しています。

リスク・マネジメントの状況

危機管理

セガサミーグループでは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」のもと、「危機管理ガイドライン」を制定し、年1回主要16社のリスク分析を行い、セガサミーホールディングスの取締役会で共有するとともに、潜在するリスクの低減および危機の未然防止に努め、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しています。

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症に対して、グループ全体で感染予防と拡大防止に努めました。

知的財産の管理

セガサミーグループでは、知的財産は企業競争力を高める重要な要素かつ企業経営を支える経営資源と位置づけ、グループ会社ごとに方針を掲げて取り組んでいます。

エンタテインメントコンテンツ事業では、各部門に知的財産推進委員を置き、プロジェクトの現場責任者、担当者、新入社員に向けた研修・説明会などを通じて、継続的に知財意識啓発を行っています。またグループイントラネットを通じて知財情報の共有を推進することで、第三者の知的財産権侵害を未然に防ぐとともに自社の知的財産権の適切な管理を実施しています。さらに知的財産権部が各部門と連携して事業戦略に即した知財戦略を策定・実行することにより、グループ全体で知的財産権を積極的かつ戦略的に取得・活用していく取り組みを進めています。また、ブランドの維持・向上のために模倣品対策なども実施しています。

遊技機事業では、研究開発の段階ごとに技術調査などを実施し、徹底したリスクアセスメントを行っています。また管理職、新入社員、開発者などの階層に応じた知財研修制度や、社内イントラネットによる定期的な知財情報の発信など、多様な啓発環境を設けて知財意識の向上を図っています。

さらに技術分野ごとに戦略的な知財ポートフォリオを構築し、効果的な知財活用を推進しています。

情報セキュリティ

セガサミーグループでは、お客さまの情報をはじめ、経営情報や営業情報などすべての情報を重要な財産と捉え、「グループ情報管理に関する方針」「グループITセキュリティに関する方針」「グループ個人情報保護に関する方針」「情報管理規程」などを定めています。また、グループ各社の担当者による情報共有の場を設け、グループ全体での取り組みを一層強化するための施策を話し合うなど、情報管理体制の強化に向けた取り組みを進めていきます。

個人情報については、「グループ個人情報保護に関する方針」に基づき各社で「プライバシーポリシー」を定め、お客さまの個人情報の適切な管理や運用に始まり、不正アクセスや紛失、改ざんおよび漏洩などを防止する対策を講じています。なおセガのグループのサービスが一つのIDで簡単・便利に楽しめる「SEGA ID」に関する個人情報は、プライバシーマーク(Pマーク)を取得しているセガホールディングスの管理下にあります。

テーマ別課題と活動実績およびSDGsとの関連性

グループが掲げるCSR取り組みテーマに対し、課題を設定し、活動の進捗・実績の管理を行っています。2017年5月に策定した中期経営戦略「Road to 2020」にグループ全体で邁進するとともに、グループシナジーの一層の拡大と効率化を目指し、2018年8月のオフィス統合および働き方改革の推進を行ってきました。これにより、社員の多様な働き方が可能となり、環境面も考慮した効率的なオフィスを整えることで、グループの中長期的成長やステークホルダーの皆さまの期待に応えていく体制を整えました。

また、2019年度より、SDGsへの取り組みをグループ全体で強化し、グループ主要各社で計画を策定しPDCAサイクルづくりを進めています。

■ セガサミーグループが取り組むべき重要課題と重点項目および活動実績

※略称は、P.2参照

取り組むべき重要課題と重点項目	取り組み		2019年の進捗・実績	主な掲載ページ	関連するSDGs
【環境】 環境負荷軽減	事業活動から発生する環境負荷の軽減	環境配慮型製品開発・販売の推進	• 低消費電力製品の開発・提供点数の増加【E】 • エコぱちんこの開発、製品化への展開【遊】	P.33 P.44-48	3 9 12 13
		3R(特にリサイクル)の推進	• 下取機リサイクル93%達成【遊】 • 廃棄物有価リサイクル(川越工場勤務者による分別活動)の実施【遊】 • アミューズメント(AM)機器の手分解による100%リサイクルを実施【SLS】		
		環境保全活動の推進	• 年次サプライヤーミーティングでの環境規制などの情報を配信【E】		
	地球環境資源への配慮	環境施策の推進	• グリーン電力証書の購入(実績：100万kWh/年)【SHD】 • 横浜市風力発電事業「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」への協賛(グリーン電力証書2019年実績：168,184kWh)【SHD】 • 主要グループ会社15社の環境負荷にかかわる数値の把握体制の整備【SSHD】 • 森林里親契約「セガの森」整備によるCO_2吸収量が長野県から評価【SHD】 • シーガイア敷地内の黒松(250㎡)の管理・保護・育成【PSR】	P.44-48	7 11 13 14 15
【依存症】 依存症低減	依存症対策など	依存症共同研究など	• 京都大学との共同研究	P.21-22 P.27-29	12
		業界団体標準などに準拠した安全基準の遵守	• 業界団体の基準などに準拠した安全基準の設定【E、遊、TOYS】 • 業界団体を通じた適度な遊技環境の推進【遊、SE】		
	その他安全対策など	不正防止対策	• 不正防止【遊】		
【人】 働きがいの向上 多様性の向上 不平等の排除	働き方改革・改善	働き方改革・改善	• 働き方改革推進(長時間残業対策、有給休暇取得率アップ、フレックス、テレワーク導入や推進など)【グループ】 • SEGASAMMY Collegeの開講(のべ4,398名受講)【グループ】	P.34-40 統合レポート参照	5 8 10
	多様性向上、不平等の排除など	多様性向上、不平等の排除など	• LGBT支援制度導入、東京レインボープライドに協賛【グループ】 • 任意団体「work with Pride」による「Pride指標」でゴールド認定【グループ】 • 副業制度導入および各種働き方改革・改善活動【グループ】		
【製品／サービス】 革新的製品の開発 製品／サービス品質向上 安心、安全な製品提供	革新的製品の提供	事業を活かした社会課題の解決	• グループ役員向けSDGs研修実施および11事業会社でSDGs推進計画策定【グループ】 • ゲーミフィケーション【セガXD】 • 共遊玩具の開発・製造・販売【TOYS】 • ドライビングシミュレーターの開発・製造・販売【SLS】 • 豊かなシニアライフのための趣味・交流機会づくり(シュミカツ！)【SGC】	P.21-22 P.51	3 4 8
		グループコンテンツを活かしたイベントによる課題解決支援	• 障がい者・健常者がともに楽しめるeスポーツの展開【SGC】 • プログラミング授業の体験【SE、TOYS】 • NPOとの協働による玩具寄贈【SSHD、TOYS】 • 出張ゲーム教室の実施【SIC】		
	製品／サービス品質向上 安心、安全な製品	製品やサービスの安心・安全の提供、並びに適正な情報開示	• 対象各国の法令、業界基準等に則し、それを上回る自主基準の設置、製品表示などによる情報開示を含む品質保証【E、遊、TOYS】 • 青少年保護対策【SE】 • 正確で適切な製品表示【E、遊、TOYS】	P.26-28	12
		サポート体制のさらなる充実	• お客さまサポート体制の充実【E、遊、TOYS】		
	地域コミュニティなどへの貢献	東日本大震災復興	• 新入社員を研修の一環として被災地へ派遣(12社、202名)【グループ】 • コンテンツを活かした被災地復興支援イベントの開催(5回)【グループ】 • 宮城県七ヶ浜町と地方創生に係る包括的連携協定締結【SSHD】	P.7-8	11
		その他グループ全体での社会貢献および文化などへの発展支援	• Dance Base Yokohama設立、「TOKYO JAZZ」など芸術活動への協賛【SSHD】 • 「絵本を届ける運動」への参加(353冊、発展途上国のエンタテインメント環境整備)【グループ】 • 玩具寄贈など【SSHD、TOYS】	P.49-54	1 2 3 4 10
		地域のスポーツイベント参画や支援など	• 「ジュニアスポーツフェスティバル」並びに野球教室の開催【SSHD】 • マラソン大会協賛【遊】、街並み清掃活動【SHD】 • 子ども食堂への支援【SSHD、PSR】		
【ガバナンス】 コーポレート・ガバナンス強化	ガバナンス体制強化	ガバナンス体制強化	• コーポレートガバナンスコード対応、独立諮問委員会・経営戦略委員会運営【SSHD】 • グループコンプライアンス・リスク連絡会議運営、SSHD役員研修などの実施【グループ】 • グループミッション、行動規範の浸透状況を取締役会に報告【SSHD】	P.13-18	16
	コンプライアンス強化	コンプライアンス強化	• グループ役員コンプライアンス研修(3回、147名)、管理職向けコンプライアンス研修の実施(34回、1,177名)【グループ】 • 企業倫理ホットラインの設置による使いやすい通報制度の構築【グループ】 • 2019年度グループ23社を対象とした統一的コンプライアンス研修の実施(eラーニング導入済み)	P.17	16
	CSR・SDGs経営の推進と啓発	経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループミッションの浸透	• グループ社員向けCSR研修の実施(21回、14社、761名)【SSHD】 • グループミッションをグループイントラネットに掲示、社員手帳冊子にも掲載し社員啓発を促進【グループ】 • CSRコミュニケーションレポートを発行し、グループ正社員およびアルバイトらに11，000 冊を配布【グループ】 • 経営トップから、社会情勢や事業発表とともに、現実に即した形で社員に分かりやすく経営理念の意味と実践についてメッセージを配信(年3回)【グループ】 • 「国連グローバル・コンパクト」への参画【SSHD】	P.13-16 P.40	—
		CSR情報の把握と共有	• グループ会社CSR担当者向け情報媒体(新聞、雑誌など)を通したCSR情報の収集とグループ各社への提供(随時)【SSHD】		



感動体験を提供によって総合エンタテインメントの使命を全うし豊かな社会を実現する

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役社長グループCOO
里見 治紀

セガサミーグループのCSR活動推進に際し、根底にあるのは本文である事業活動を通じた「感動体験」の提供です。SDGsありきではなく、本業で社会要請に応えることが社会とセガサミーグループの持続的発展につながり、ひいてはSDGs達成に貢献できると考えます。

社会から必要とされる企業グループであり続けるため、これまで推進してきた4つのCSR・SDGs重点取り組みテーマを見直しました。そのうえで2020年10月、セガサミーグループとして取り組むべき「環境」「依存症」「人」「製品／サービス」「ガバナンス」という5つの重要課題（マテリアリティ）を特定しました。今後は重要課題に注力し、SDGs達成に貢献していきます。

環境面では筐体の製造過程における環境負荷低減や、プラスチック削減などによる環境保全に努めます。深刻化する依存症問題に関しては2017年に開始した京都大学との共同研究をより一層深化させ、予防に取り組みます。

感動体験の提供に不可欠なものはグループ計約8,800名にのぼる「人」、つまりは社員です。現在、働き方改革なども含めて多様性が当たり前の企業風土の形成に注力しています。様々なバックグラウンドを持った社員の英知の積み重ねで製

セガサミーグループのSDGsへの貢献

製品／サービス

具体的な取り組み

- 安心・安全に楽しめる高品質な製品・サービスの提供
- 開発プロセスの改善
- エンタテインメントコンテンツを活用した超少子高齢化社会への対応

CASE 1 ドライビングシミュレーターによる運転寿命の延伸

昨今増加傾向にある高齢者ドライバーの交通事故の削減は社会的に深刻な課題となっています。セガ・ロジスティクスサービスは、損害保険ジャパン日本興亜と共同で、運転に関する認知機能や運転技能を診断・トレーニングできる機能を備えた「ドライビングシミュレーター」を開発しました。交通事故、高齢者の暴走事故の支援についてシミュレーターを使った認知機能の検査、運転技能の維持・改善を模索していた損保ジャパン日本興亜と当社グループの技術・企業理念が一致し、実現しました。



包括的連携協定を結ぶ、宮城県七ヶ浜町で導入しており、高齢者の事故抑制と運転寿命延伸による豊かなシニアライフの実現、安心・安全な車社会の実現に寄与します。

CASE 2 プログラミング教育の支援



あらゆるモノがインターネットにつながり、管理できるようになった社会において子どもたちが将来職業を選択する際、プログラミング知識の有無や多寡は大きく影響します。2020年度から小学校でのプログラミング授業が必須となりましたが、指導者確保に課題も残っています。

セガサミーグループの得意分野であるゲーミフィケーション（ゲームの要素や特長を他分野に応用すること）の知見を活かし、アプリ制作などを手掛けるアシアルと共同開発したアクションパズルゲーム「ぷよぷよ」を使ったプログラミング学習コンテンツで教育現場の支援を実施。教育現場の課題解決に加え、将来を担う子どもたちのレベルに応じたプログラミング学習を実施します。

品・サービスの品質向上に努め、安心・安全に楽しみながら感動体験を味わえるエンタテインメントコンテンツを生み出し続けていきます。

こうした挑戦に企業経営の基盤となるガバナンスの強化は不可欠と考え、業務執行の監督や執行機能のさらなる強化を視野に入れた制度設計を進めています。経営の透明性を高め、ステークホルダーに責任ある説明を行うことが外部の適正な声の吸い上げにつながり、より強固な経営基盤の確立につながると確信しています。

事業活動を通じて社会要請に応えていくことが理想的なサステナブルであり、セガサミーグループとして理想の実現に向けて行動に移す段階に入ったと考えます。重要課題に関する取り組みを強化することで「感動体験の提供」という使命を全うし、あらゆる事業活動でSDGs達成に貢献していきます。

● セガサミーにおけるこれまでの取り組み

2019年2月	SDGs重点取り組みテーマ特定
2019年4月	SDGs推進室の設定
2019年5月	役員を対象としたSDGs研修
2019年7月	新たな行動計画の策定および次期計画への各事業会社取り組み検討開始
2020年10月	取り組むべき5つの重要課題（マテリアリティ）を特定



事業活動に邁進することで、社会から要請される課題に取り組んだ結果として、新たなSDGs達成貢献につながる――。セガサミーグループは、このサイクルを継続することこそがサステナビリティの本質と考えます。エンタテインメントを通じて「社会をもっと元気に、カラフルに。」するというグループミッションの遂行に心血を注ぎ、社会の要求に応えていきます。

人

具体的な取り組み

- 事業強化につながる働き方改革の追求
- ダイバーシティ実現
- 多様な人財が活躍できる環境づくりによる、創造性に富んだ企業風土の確立

CASE LGBTの認知拡大を支援

セガサミーグループは同性カップルに対する扶養手当制度を設けているほか、eラーニングで国内グループ社員を対象にLGBTについての研修を行っています。

このほか、2019年度よりセクシャル・マイノリティの認知拡大に努める「東京レインボープライド」の活動を支援しています。

依存症

具体的な取り組み

- 業界一丸となった啓発活動の実践による社会的信頼性の構築
- ギャンブル依存症予防のための研究深化
- ゲーム依存症・のめり込み問題への対応

CASE 京都大学との共同研究

京都大学 こころの未来研究センターの村井俊哉教授とともに、ギャンブル依存症の予防研究を実施し、独自の対策を講じています。

環境

具体的な取り組み

- バリューチェーンを網羅したCO_2排出量の削減と見える化
- 遊技機のリユースによる筐体の廃棄ロス削減
- 自然環境保全および省エネルギー

CASE 環境にやさしい製品開発

セガ ヨーロッパでは一部ゲームのプラスチック製パッケージを廃止しました。このほか、遊技機の筐体のリサイクルなどにも引き続き注力し、廃棄物の削減に尽力しています。



ガバナンス

具体的な取り組み

- 透明性のある経営
- 役員報酬の見直し